

# アサヒ

No. **86**  
2017.11

## だより

- P2 株式会社アサヒ  
55年の歴史
- P3 得意先紹介
- P3 仕入先商品紹介
- P4 経営塾
- P4 社内情報
- P5 社内情報
- P6 ふれあい広場



今回の表紙：首里城中秋の宴

琉球王国時代、中国皇帝の使者である「冊封使（さっぽうし）」を歓待するために開かれた「冊封七宴（さっぽうしちえん）」。  
その宴の一つ、旧暦の8月15日中秋の名月の下で行われたのが「中秋の宴」です。

月明かりに照らされた正殿を背に、人間国宝による最高峰の古典舞踊や組踊が披露されます。

(撮影場所：首里城正殿前御庭市 2017年9月)

# 株式会社アサヒ 55年の歴史

平成29年11月をもちましておかげさまで創業55周年を迎えることを機に、アサヒの歴史を振り返る企画をスタートしました。第4回目となる今回は、平成元年(1989)年から約4年間の歴史をご紹介します。



## 第4回 1989年～1992年

### 1989年 地獄の訓練

平成元(1989)年から翌年にかけては、「地獄の訓練」をはじめとする訓練やセミナーへの社員派遣が集中的に行われた。この時期に始まった一連の研修は、その後の社員教育を方向づける役割を果たし、現在にもその精神とマニュアルは業務の中でいかされるものとなった。

### 1991年 職能給導入

平成3(1991)年当社の給与体系に大きな変革をもたらされる事となった。従来の年功給から移行する「職能給導入」が決定された。



### 業容拡大

同年の4月、主に管工事業者や建築業者に対応する商品を扱う部門として住設建材営業部を新設、当社は電材以外の部門へと業容を拡大していった。

## 第5章 新時代

### 株式会社アサヒに社名変更

平成4(1992)年11月1日に創業30周年事業の一環として、朝日電材株式会社から株式会社アサヒに社名変更した。アサヒの「A」をシンボル化したピラミッド型のマークは、強固な組織力を表し、右上に伸びていく力は、自由で伸びやかな企業風土とパワフルな情熱、企業の将来性を示している。



# 得意先紹介 興南施設管理株式会社

代表取締役社長 屋良 学 様

弊社は昭和52年5月、管・機械・電気・計装・化学・土木等の総合技術が要求される各分野のスタッフを結集した技術集団の会社として設立され今日に至っております。

主たる業務が住民生活のライフラインともいわれる公共施設である上水道、下水道、及びごみ処理等の運転維持管理であるため、景気の変動にも左右されず、今年5月にはおかげさまで創立40周年を迎え、8月には本社を浦添市安波茶から浦添市牧港へ新築移転致しました。

タイトルに記載している「快適な生活環境づくりに奉仕する技術集団」とは会社のモットーであり、現在340人の従業員が在籍し、住民生活に即影響するライフラインを止めぬよう365日、24時間の運転管理で多くの技術職員を配置しています。この維持管理業務は決して華やかな仕事では



代表取締役社長 屋良 学 様

## 快適な生活環境づくりに奉仕する技術集団 興南施設管理株式会社創立40周年

ありませんが、止める事のできない重要な職責を負っており、我々はこの力を天職として、また縁の下の力持ちとして社会に奉仕しております。技術職員が保有する

免許資格は約100種類に及び、運転維持管理に留まらず、点検、修繕工事まで総合的に対応できるのが大きな特徴であり強みです。

また「健康経営」にも力を入れており、従業員の健康面を配慮しております。ポイラーや焼却炉などの高温・高所になる厳しい場所での点検・整備を行っている技術社員がたくさんおり、体調不良は即、重大な事故に繋がりがかねません。日頃からの健康管理はもちろん社員の健康診断結果について

は、管理職、役員が厳しくチェックし指導しております。また、福利厚生の一つとして、社員がスポーツイベントに参加するのを奨励するなど、社をあげて健康



屋良社長自らスポーツイベントに参加

経営に取り組んでおります。私自身がスポーツイベントに参加する事により社員の健康経営に対する意欲が掻き立てられ、継続に繋がっているのだと思う。

私は常に人と人との縁を大切にしており、縁を絶やさないように心がけております。社員はもちろんお取引先等との交流も大切にしており私自身の誕生日会を企画・運営し、皆さまへ感謝の気持ちを伝えております。

最後になりますが、より良い快適な生活環境をお客様へ提供し続けていける様頑張っておりますので今後とも宜しくお願い致します。



浦添牧港へ新築移転した新社屋

### 仕入先商品紹介



## かがつう株式会社

# 株式会社アサヒオリジナルモデルのLED防犯灯を新発売!



LED防犯灯  
ASA-140-8L (光センサーなし)  
ASA-140S-8L (光センサー内蔵)

特長

- 沖縄仕様
- 省電力・長寿命
- 軽量・コンパクト
- 配光可変機能

LED防犯灯専門メーカーのかがつう(株)とタイアップして(株)アサヒオリジナルモデルのLED防犯灯を新発売しました。かがつう(株)は屋外照明・自動点滅器のパイオニアとして50年以上の販売実績を有しており、その技術力は業界内でも高く評価されています。今回発売する「AS A-140(S)ー8L」の本体は錆に強いアルミダイカストを採用し、LED防犯灯は大切な役割を果たしてまいります。

今後沖縄県の安全と安心を確保するため、(株)アサヒのLED防犯灯は大切な役割を果たしてまいります。

高効率LEDを使用することで省電力とLED寿命60,000時間を実現しました。器具質量は0.6kgと軽量かつコンパクトな設計で作業性も向上します。また、設置環境に心じて配光を変更できる配光可変型LEDモジュールを搭載しています。

### 沖縄県内を訪れる外国人観光客の動向

#### 観光客数の推移

県内を訪れる観光客数は、復帰の年の1972年度は55万人でした。その後、伸び悩む時期もありますが、傾向としては増加基調をたどり、2016年度は876万人となりました。2017年4月から8月までの5カ月間の実績は420万人となっており、2016年の同期間と比べると10.0%増加となっています。年間を通してこの伸び率が続くと900万人の大台に乗ることが期待できます。

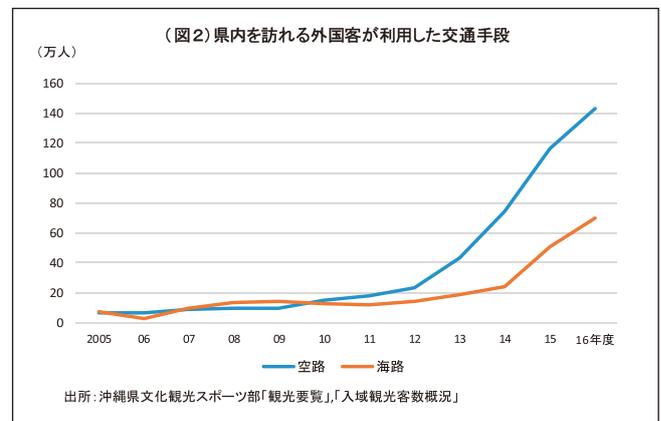
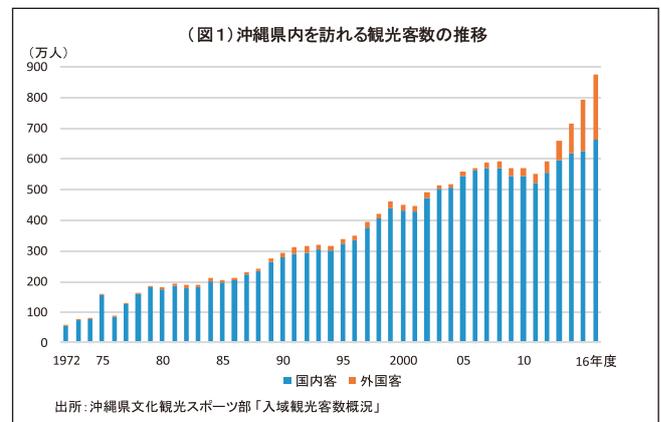
#### 国内客と外国客の推移

好調に推移している観光客の内訳をみると、2013年度以降に大きな変化がみられます。それは、外国客の大幅な伸びです。観光客全体に占める外国客の割合は2013年度の9.5%から、2016年度には24.3%と4分の1を占めるまで上昇しています。図1にみられるように人数では国内客が圧倒的に多く、また増加傾向にあります。増加率は外国客が国内客を大きく上回っています。外国客の根強い旅行需要が、増加する観光客の一端を支えていることがわかります。

#### 今後の見通しと課題

経済成長を背景にアジアからの外国客の旅行需要は根強く、また2020年には東京オリンピックが開催されるため、今後も県内に訪れる外国客は増加することが予想されます。一方で、空港および港湾設備などは現在整備が進められていますが、増加する観光客に十分に対応できるか懸念が残ります。観光客を受け入れるためのインフラ（空港や港湾、宿泊施設、陸上交通手段など）について、将来を見据えた体制整備が喫緊の課題となっています。

(以上)



#### 外国客が利用する航路別推移

外国客の交通手段の推移を航路別にみると、航空路線を利用する空路、クルーズ船を利用する海路ともに伸びています。空路は、那覇空港や石垣空港など県内発着のアジア路線が拡充したことに加え、数多くの格安航空会社(LCC)が就航したことから、外国客が利用しやすくなったことが背景にあります。海路はクルーズ船の寄港回数が増えてきたことが背景にあり、那覇港、石垣港に加え、平良港(宮古島)への寄港も増加しています。

**10月度**

(パームヒルズゴルフパー72)

▽優勝 山田毅(アサヒ) G 90 H 14 N 76

▽2位 上原孝司(アサヒ) G 112 H 35 N 77

▽3位 村山峰治(遠藤照明OB) G 96 H 18 N 78

▽7位 神里盛政(灘オート)

▽ニアピン 山城亮・山田毅・田場厚生・赤嶺敏郎(以上アサヒ)

▽ドロン 山田毅・山城亮(以上アサヒ)・渡辺高宏(ネグロス電工)・與座保人(ダイキン沖縄)

**9月度**

(パームヒルズゴルフパー72)

▽優勝 山城亮(アサヒ) G 93 H 16 N 77

▽2位 山田毅(アサヒ) G 96 H 17 N 79

▽3位 田場厚生(アサヒ) G 93 H 13 N 80

▽7位 上原国治(アサヒ) △ニアピン

丸野一秋(岩崎電気)・吉田修(海邦物産)・岸本吏(沖縄三菱) △ドロン

岸本吏(沖縄三菱)・田場厚生・上原幸弘・山城亮(以上アサヒ)

# 「積極的な営業活動を…」 アサヒ創業55周年記念式典・祝賀会

アサヒは、11月1日(水)に創業55周年を迎え、創業記念式典を11月3日(金)に那覇市の都ホテルで行われました。福重社長は、「1日頃の業務活動、特に積極的な営業活動を通して、現在より少しでも成長を続けることが、私どもに課せられた最大の使命であろうと考えております」と話されました。

続いて、永年勤続者の表彰が行われ、35年勤続の福山朝秀さん他、計9名に表彰状と記念品が福重社長から贈られました。

その後、社員を代表して宮城尚弘さんの挨拶、山田毅さんによる万歳三唱などがあり、式典は閉会しました。

式典終了後は電材一課の大地孝平さんと、総務課の宮良杏奈さんの進行で祝賀会が開かれ、料理を囲み、永年勤続表彰者・社員間で懇親を深める事が出来ました。

祝賀会では、永年勤続表彰者からのスピーチや、アサヒの歴史をテーマにしたビデオ上映、ゲーム等で楽しく過ごす事が出来ました。



55周年式典で話す福重社長



福重社長と永年勤続表彰者

## 永年勤続表彰者

35年勤続 福山朝秀 (電設課課長)

30年勤続 赤嶺敏郎 (電材二部部长)

大浜芳政 (商品部管理配課課長)

25年勤続 山城亮 (住建部部长)

崎山仁 (八重山営業所所長)

仲村和浩 (管理部総務課課長)

伊集盛人 (電材一部长)

20年勤続 金城徹 (管理部業務課課長)

玉城洋平 (南部営業所管理配課主任)

アサヒでは55周年記念事業の一環として55セールを実施させていただきました。セールの特典として大勢のお得意先様を旅行へ招待し、国内コース・海外コースと2コースの旅行を実施しました。

国内コースは10月12日から14日までの2泊3日で比叡山・彦根城・下呂温泉・伊勢神宮を巡る旅でパワースポットの伊勢神宮では巨大な御神木に触れてご利益を頂きました。また海外コースは10月24日から28日まで



の4泊5日の日程でベトナム世界遺産ハロン湾とハノイ・ホーチミン2都市を巡る旅でした。ホーチミンではゴルフ班と観光班に分かれゴルフ好きは歴史ある名門コースでプレーを楽しみました。首都ハノイではベトナムの歴史と文化に触れることが出来ました。

旅行中は、ご不便をお掛けしたかと思えます。台風の影響で延泊となりましたが皆様のご協力のおかげをもちまして楽しく、無事に終えることができました。

## 北那覇法人会主催 財務テクニク講座講演会

公益社団法人北那覇法人会様主催による、第5支部(泊地区)講演会及び交流会が10月19日(木)にとまり会館にて開催されました。

講師には城間公認会計士事務所 城間氏にお越しいただき、約1時間にわたり、会社経営に活かせる財務テクニクを学ばせて頂きました。テーマを明確にしたわかりやすい内容で、参加された地域の企業の方々には、有意義な時間を共有できたとお思います。名刺交換をしながら



講習会を聞き入る様子

の交流会でも、改めて地域企業様との顔合わせをすることが出来、とても貴重な会となりました。

## 問題解決の契機に ISO9001が改定

アサヒでは、平成16年のISO9001導入から13年になります。当初はISO9001:2000という規格でしたが平成21年にISO9001:2008に改定し、来年の平成30年にはISO9001:2015に改定します。

導入当初は書類作成に追われ、常に様式を作り続ける日々でした。改定されるに連れて実務に沿った内容が変わって来ているように感じます。

今回の改定では大きく4つのポイントがあります。

- ① 経営活動との結びつけ
- ② 経営者の役割が強化
- ③ リスクマネジメントの強化
- ④ 不必要な文書の排除

この改定で予想される状況としては、これまでであった「ISOの為の書類作成」、「やらされている感」が大幅に改善できると期待しています。今回の改定は「マイナーな改定」と捉えるのではなく自社が抱える様々な問題を解決する一大チャンスと捉えて取り組むことが重要だとお思います。

# ふれあい広場

## 創業55周年記念式典・祝賀会



11月3日(金) 沖縄都ホテルにて株式会社アサヒ創業55周年記念式典・祝賀会を行いました。記念式典では35年勤続の福山朝秀さんはじめ9名の永年勤続の表彰を実施。その後、祝賀会では歓談の時間やジャンケン大会、55周年を振り返るビデオ上映を行い全社員の交流を深めました。(詳しい内容はP5の上段にて掲載しております。)



### クイズ

ある法則で作られた暗号です。  
「会」は、「書く」と表します。  
「書」は、「刺す」と表します。  
それでは「刺す」はなんでしょうか。

【前回クイズの答え】  
(50音を「あ」から順番に番号を付ける)と20||と、36||や、31||  
ま、となる。答え⇒富山)

### 応募方法

FAXまたはメールでご応募下さい。お名前、勤務先名とご住所をお書きください。正解者の中から抽選で5名様にギフトカードを差し上げます。

FAX 098-8663-3044  
メール asahi-dayori@kkasahi.co.jp

クイズの締切 2017年12月末日必着

### ★第85号クイズ当選者★

①S・T(仕入先様)

②S・I(社員)

おめでとうございます。

### 編集後記

インフルエンザが今年も流行ってきております。手洗い・うがいはもちろんですが、予防接種も受けてインフルエンザ対策をしていきましょう。

(宮良 杏奈)